

食育推進事業

『調布市食育推進基本計画（第3次）』（平成30年度～令和4年度）に基づき、「食を通じたところとからだの健康づくり」を基本理念に、市民の健康づくりを「食」という側面から進める。市民一人ひとりが、食べることへの理解と感謝を深め、望ましい食生活を送ることを通して、生涯にわたって健全な心と体を育み、豊かな人生を送ることを目指す。

＜各事業の実施内容＞

1 調布市食育講演会

食育月間である6月に市民全般を対象とした、「食」をテーマにした講演会を行い、食に関する情報提供と食育の普及啓発を行った。

令和3年度の食育講演会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため集客はせず、講演内容を撮影し、市ホームページにて映像を配信。

- (1) 演題 「再発見、日本の食文化～次世代へつなぐ郷土の食～」
- (2) 講師 株式会社イーフード代表 各国・郷土料理研究家 青木ゆり子氏
- (3) 映像配信期間 令和3年6月19日（土）午前9時から
令和3年7月31日（土）午後11時59分まで
- (4) 映像再生時間 約18分
- (5) アクセス数 262件（7月末日）

2 食育セミナー「目指せ！調布っ子食育マイスター」

小学4・5年生を対象とした食育講座。食に関する様々な体験を通して、食べることへの理解と感謝を深め、健全な心を育み、生涯にわたって健康的な食生活を実践するきっかけとする。

令和3年度の食育セミナーは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、通信制で実施。東京医科歯科大学及び民間企業2社（JA全農ミートフーズ株式会社、オリジン東秀株式会社）に協力依頼。

ワークシート提出者51人を「調布っ子食育マイスター」に認定。

3 普及啓発

(1) のぼり旗の設置

6月（食育月間）と9月（健康増進月間・食生活改善普及運動月間）に「食を通じたところとからだの健康づくり」ののぼり旗を市内関係機関（61か所・70本）に設置。

(2) ミニのぼり旗の設置

6月（食育月間）と9月（健康増進月間・食生活改善普及運動月間）に「毎月19日は食育の日みんなで楽しくおいしく食べよう」のミニのぼり旗を市内関係機関の窓

□（108か所・118本）に設置。

(3) オリジナルポケットティッシュの配付

6月（食育月間）と9月（健康増進月間・食生活改善普及運動月間）に「朝ごはんを食べよう！」と記載したオリジナルティッシュを保健センターでの事業（乳幼児健診、子ども歯科相談室、育児教室、食物アレルギー・スキンケア教室など）の参加者に配付。9月においては保健センター以外に地域福祉センター、図書館、児童館、学務課において配付。

(4) ポスターの掲示

調布市食育推進基本計画（第3次）に基づき作成したポスター2種類を、市内各所（190か所）に通年掲示し、食育について市で統一した取組を行う。

(5) 情報発信

広く市民に情報提供を行い、食育について興味・関心をもつきっかけとした。

ア 奇数月5日号の市報に、食に関する情報「食育コラム」を掲載。

イ 調布FMおよびケーブルテレビ等を活用し、食育に関する事業について周知。

(6) 調布市食育ガイドの作成

「調布市食育ガイド食品ロスを減らそう編」を作成。国や東京都の第4次食育推進計画の課題のひとつとなっている「食品ロス削減」について、調布市の現状や課題、家庭ですぐにできる取組などについて掲載し、調布市食育推進基本計画（第3次）の基本目標の心の分野における「もったいない」「食べ物を無駄にしない」という視点から食育の推進を図る。